



令和3年度 学校便り

与論中だより

令和3年6月7日 与論町立与論中学校

校訓
誠
協創自
体力
気力
調造主

地区総体 2年間の想い

できることに感謝，全ての方に感謝

全力プレーで恩返し，みんなに感動を！

校長 徳重 正宏



昨年は、これまで当たり前だった中体連総体そのものが実施できず、本当に悔しく、残念な想いをしたのを思い出します。と同時に当たり前のことが当たり前に行えることがいかに幸せであったのかを実感できた年でもありました。

今年度も昨日まで、この新型コロナウイルス感染症で部活動が停止、再開が繰り返され、十分な練習ができたとはいえませんが、そんな中でも皆さんは、できる範囲で工夫しながら、練習を頑張ってくれました。今年度は昨年プレーできなかった卒業生の分まで、与論中の代表として2年分の想いをそれぞれの競技で発揮してきてください。特に3年生にとっては、結果によっては今回が最後になる人もいます。与えられた自分の役割を、責任を全うし、チームのために貢献してください。そして、奄美地区の代表権を得て、学校に帰ってきてほしいと思います。期待しています。

そこで、地区総体を目前にして、生徒の皆さん伝えたいことを記します。



自分がやりたいこと（部活動や趣味など）をさせていただける環境を与えてくれた方や応援してくださる方々全てに感謝しましょう。

中でも、お父さん、お母さんをはじめ、御家族、地域の方々、大会を運営してくださる方々、顧問の先生方など、お世話になった方々に感謝し、その方々が感動する一生懸命なプレーを披露してください。

勝利への想いが独りよがりになることなく、チームのために、周りの方のために、誰かのためにプレーするとなると、いつも以上に力が湧いてくるとも言われます。そういうプレーヤーに周りは、さらに応援したくなるものです。是非、与論中のチームは、周囲の方々から愛され、応援したくなるチームであってください。

試合終了時に、勝利していることは確かに嬉しいことですが、それだけに終わらず、あいさつ礼儀、態度も含め、スポーツマンシップとフェアプレーも忘れず戦って来てください。健闘を祈ります。

なお、新型コロナウイルス感染症の対策はしっかりとお願いします。競技中やその前後の過ごし方にも最新の注意をはらってください。

緊張を楽しむ

最後の試合となると、力も入り、プレッシャーもあり、自分のいつもの力が発揮でないこともあります。しかし、中には、その緊張感をポジティブに考え、楽しさに転換できる人もいます。

「相手も緊張しているのは同じ。だったら楽しんだ方が得。」「いろいろ悩んでも仕方がない。今できる精一杯のプレーをする。」

「この緊張感が自分を一回り大きくしてくれる。」などメンタルコントロールをして試合に臨んでほしいと思います。

笑顔 笑顔 笑顔で勝利の女神を呼び込んでください。

